



HIC-HB411W

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2024 年 10 月 7 日	新規作成(FW:2.24.05.733.205)
第 1.1 版	2024 年 12 月 10 日	FTP ユーザ追記

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途^{*}での設備や機器としての使用またはこれらに組込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害が生じても当社はいかなる責任も負いかねます。お客様が、本製品をハイセイフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等十分な配慮をお願いします。

^{*}：極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。
- 本製品を使用する場合、Microsoft、Apple、Googleの関連コンテンツが含まれます。本ユーザーマニュアルの写真とスクリーンショットは、当社製品の使用方法を説明するためだけに使用しています。Microsoft、Apple、Googleに関連する商標、ロゴおよびその他知的財産の所有権は、上記の企業に帰属するものとします。
- 本ユーザーマニュアルで使用されている例と画像はすべて、対象のモデルの1つです。記載と異なる場合はご使用の製品に準じてください。

免責事項

- インターネットにアクセスできる製品に関しては、製品の使用は完全にお客様自身の責任で行われるものとします。当社は、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス検査、その他のインターネットセキュリティリスクにより生じた異常動作、プライバシー漏えいその他の損害について、一切責任を負わないものとしますが、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- 監視法は国によって異なります。監視目的で本製品を使用する前に、お住まいの地域のすべての法律を確認してください。私たちは、違法な操作によって生じるいかなる結果についても責任を負いません。

サイバーセキュリティに関する推奨事項

- 強力なパスワードを使用します。パスワードには、少なくとも 8 文字、または文字、数字、大文字と小文字の組み合わせを使用する必要があります。
- デバイスのパスワードを定期的に変更して、承認されたユーザのみが system にアクセスできるようにします（推奨時間は 90 日です）。
- サービスのデフォルトポート(HTTP-80、RTSP-554など)を変更して、部外者がアクセスできるリスクを軽減することをお勧めします。
- ルータのファイアウォールを設定することをお勧めします。しかし、いくつかの重要ポート(HTTPポートなど)は閉じることができません。
- デバイスを直接公衆ネットワークに接続することはお勧めしません。公衆ネットワークに接続する必要がある場合は、ルータを介しそれに対応するファイアウォールポリシーを設定してください。
- MACアドレスフィルタリングを使用してIPアドレスをフィルタリングします。これにより、指定された IP アドレス、MACアドレスを除くすべての人がシステムにアクセスできなくなります。
- 複数のユーザを追加する場合は、ユーザアカウントの機能を制限してください。
- ログを確認してください。権限のないユーザによってデバイスがアクセスされたかどうかを知りたい場合は、ログで確認できます。システムログには、システムのログインに使用された IP アドレスが表示されます。

規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A



RoHS

製品は、電気および電子機器における特定の有害物質の使用の制限に関する指令 EU RoHS 指令 2011/65/EU および修正指令 EU 2015/863 に従って設計され、製造されています。

2012/19/EU(WEEE 指令): 廃電・電子機器に関する指令(WEEE 指令)。WEEE の環境管理を改善するためには、寿命の末に電子機器の回収、処理、リサイクルの改善が不可欠です。したがって、この記号でマークされた製品は、責任ある方法で廃棄する必要があります。

指令 94/62/EC: この指令は、包装および包装廃棄物および環境保護の管理を目的としています。本書に記載されている製品の包装・包装廃棄物は、適切なリサイクルと環境保護のために、指定された収集ポイントで廃棄する必要があります。

REACH(EC1907/2006): REACH は化学物質の固有特性をより適切かつ早期に同定することで、人の健康と環境の高いレベルの保護を確保することを目的とした化学物質の登録、評価、認可、制限に関するものです。本書の製品は、REACH の規則および規則に準拠しています。REACH の詳細については、**DG GROWTH** または **ECHA** のウェブサイトをご覧ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

尚、本機のファームウェアバージョンによっては、本書に記載のメニューと異なる場合があります。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

使用上の注意



警告



●本機に乗らない！

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



●本機の上に重いものを置かない！

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



●移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！

火災の原因となることがあります。



●専用 AC アダプタ以外は使用しない！

定格外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。



●電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！

引っ張らない！ 加熱しない！

コードが破損して火災・感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！

感電の原因になります。



●指定された消費電力（W）を越える装置は接続しない！

火災の原因となります。本機の AC アウトレットが供給できる電力（W）は AC アウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。



●レンズで太陽・照明などをのぞかない！

強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



● **本機のケース・裏パネル等をはずさない!**

内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。



● **本機の上に水などの入った容器を置かない!**

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。



● **風呂、シャワー室などの水場では使用しない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機の上に小さな金属物を置かない!**

中に入ると、火災・感電の原因となります。



● **表示された電源電圧以外は使用しない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機に水を入れたり、濡らしたりしない!**

火災・感電の原因になります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。



● **本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない! 落とし込まない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機を改造しない!**

火災・感電の原因となります。

設置について



警告



● **不安定な場所に置かない!**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



● **電源コードの上に重いものを置かない! 本機の下敷きにしない!**

コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- **水場に設置しない！**
火災・感電の原因となります。



- **指定された機器以外とは接続しない！**
火災・感電の原因となります。



- **本機の固定は工事専門業者に依頼を！**
本機を固定する場合は、指定された方法で正しく固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業員にご相談ください。



- **湿気やほこりの多い場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **本機の通風孔をふさがない！**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。



- **電源コードを熱器具に近づけない！**
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！**
感電の原因となることがあります。

異常時の処理について



警告



- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンに修理をご依頼ください。



- 本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業員にご連絡ください。



- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業員に交換をご依頼ください。

お手入れについて



注意



- お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！

感電の原因となることがあります。



- 一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！

本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。



注意

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適當なものがあった場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

その他



通知

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。



通知

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もあります。

目次

1. はじめに	15
1.1. 製品概要	15
1.2. 特徴	15
1.3. 監視アプリケーション	16
1.4. 梱包物一覧	17
1.5. 製品外観	17
1.6. カメラの設置	18
2. ネットワーク接続	19
2.1. LAN	19
2.1.1. IP Finder によるアクセス	19
2.1.2. Microsoft Edge でカメラに直接アクセス	23
2.1.3. レコーダ(NVR/DVR)でカメラにアクセス	24
2.1.4. Wi-Fi ルータを介してアクセス（マスタ/スレーブ方式）	25
2.1.5. スマホ or コンピュータと直接接続（ホスト-AP 方式）	26
2.2. WAN	27
2.2.1. ルータまたは仮想サーバを介したアクセス	27
2.2.2. 静的 IP によるアクセス	28
3. ライブ画面	29
4. 設定画面	31
4.1. システム	32
4.1.1. 基本情報	32
4.1.2. 日付と時間	33
4.2. ストレージ設定	35
4.2.1. ストレージ情報	35
4.2.2. 録画ファイル検索	36
4.3. 映像/音声	38
4.3.1. カメラ	39
4.3.2. 映像	41
4.3.3. 音声	42
4.3.4. OSD	43

4.3.5. プライバシーマスク	44
4.3.6. 露出調整領域設定	45
4.3.7. ROI (Region of Interest)	46
4.4. インテリジェント監視.....	47
4.4.1. 境界線超え	47
4.4.2. シーンチェンジ	49
4.5. アラーム設定	50
4.5.1. 動体検知	50
4.5.2. アラームサーバ	53
4.5.3. イベント	56
4.6. ネットワーク	61
4.6.1. TCP/IP	61
4.6.2. 詳細	62
4.6.3. ワイヤレスネットワーク	63
4.7. セキュリティ設定	64
4.7.1. ユーザ	64
4.7.2. オンラインリスト	66
4.7.3. MAC アドレスフィルタリング	66
4.8. メンテナンス	68
4.8.1. バックアップと復元	68
4.8.2. 再起動	70
4.8.3. 更新 (カメラのソフトウェア更新)	71
4.8.4. 操作ログ	72
4.8.5. システムログ	73
5. 製品仕様	74
6. 困ったときには	76
◆パスワードを忘れたときの対処方法	76
● リセットボタンを操作して初期化する。	76
◆本体の電源が入らない	77
◆RJ-45 ポートでリンクが確立しない	77
◆IE ブラウザ経由でカメラに接続できない。あるいは、表示がおかしい	77
◆IP Finder でデバイスを見つけられない	77
7. 製品保証	78

1. はじめに

1.1. 製品概要

本機は、1 / 3" 4 メガピクセル CMOS センサを搭載し、2560X1440 の高解像度で撮影することができるネットワークカメラです。

2.4GHz 帯の無線 LAN 接続に対応しており、Wi-Fi 環境が整備された場所では、PC やレコーダと無線接続が可能のため、容易に設置することができます。

ディープラーニング推論エンジンによる「顔」「人間」の認識機能を搭載し、従来の検知機能に比べてより精度の高い検知動作を実現しています。

オートホワイトバランス機能、逆光補正、自動電子シャッター機能、赤外線照明等、監視カメラに要求される機能を装備したネットワークカメラです。

1.2. 特徴

- 1/3" 4 メガピクセル CMOS センサを搭載し、高解像度・高画質を実現
- 赤外線 LED を装備し、夜間、照明のない環境でも撮影可能
- 2 タイプのストリーミング（H.264 or H.265）配信機能に対応
- ディープラーニング推論エンジンによる「人間」「顔」の検出が可能
- 人間を対象とした、ライン越え検知機能を装備
- WDR 機能、BLC 機能により、逆光等の明暗差が大きな被写体でも最適な画質に調整可能
- 2.4GHz の Wi-Fi 無線 LAN 接続が可能
- ブラウザ接続は、Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox に対応
- Micro SD カードへの録画が可能。録画スケジュールの設定可能
- マイクロフォンとスピーカを内蔵し、PC と双方向通話が可能
- 内蔵スピーカから警報音を鳴らすことが可能（手動操作）
- モーション検知、プライバシーマスク機能、メール送信機能、FTP 転送機能などの機能を装備
- ROI（Region Of Interest）機能で注目領域を高解像度で撮影
- IP65 規格対応の防塵・防水性能

1.3. 監視アプリケーション

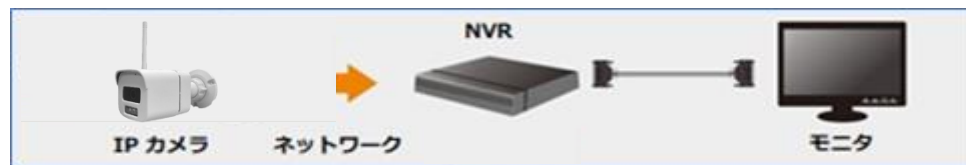
カメラと Wi-Fi ルータを Wi-Fi 接続。Wi-Fi ルータと録画装置を接続



カメラとコンピュータを LAN で接続



カメラと NVR などの録画装置を接続



カメラと CMS など監視ソフトウェアと接続



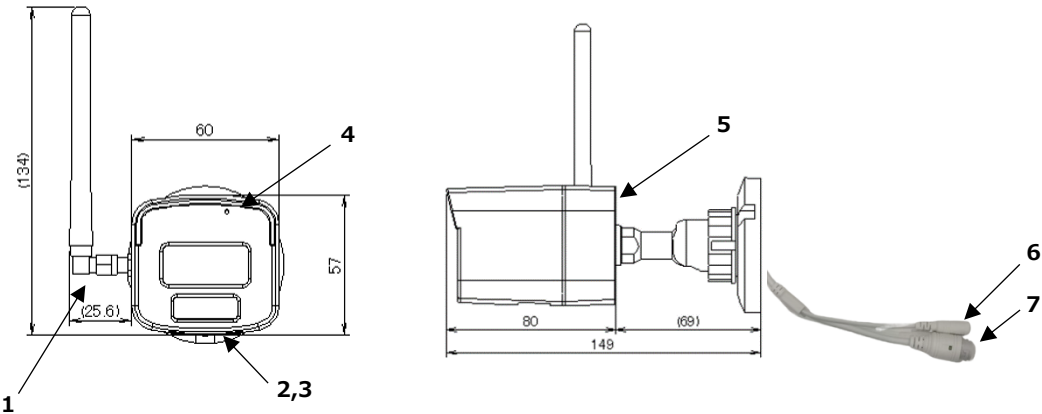
1.4. 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名 称	数 量
本体	1 台
アンテナ	1 本
ネジ、アンカー（各 3 本）	1 式
LAN コネクタ用防水キャップ	1 個
ドリルテンプレート	1 枚
クイックスタートガイド	1 枚

1.5. 製品外観

● Wi-Fi バレットカメラ HIC-HB411W



#	表 示	説 明
1	Wi-Fi	付属の Wi-Fi アンテナを取付け
2	SD カードスロット	メモ리카ード（Micro SD/SDHC/SDXC）をスロットに挿入 SD カードに録画、静止画保存を行います。
3	リセット	リセットボタン(10 秒間長押し)
4	マイク	内蔵マイク
5	スピーカ	内蔵スピーカ
6	POWER	DC12V 入力
7	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 非対応

1.6. カメラの設置

本製品の設置については、以下の注意点をご確認の上、設置してください。

- 注 1 壁または天井がカメラの 3 倍の重量に耐えられる強度であることを確認してください。
- 注 2 カメラは乾燥した場所に設置してください。
- 注 3 取り付けが完了するまで保護フィルムを剥がさないでください。

2. ネットワーク接続

LAN または WAN 経由で IP カメラを接続します。詳細は次のとおりです。

2.1. LAN

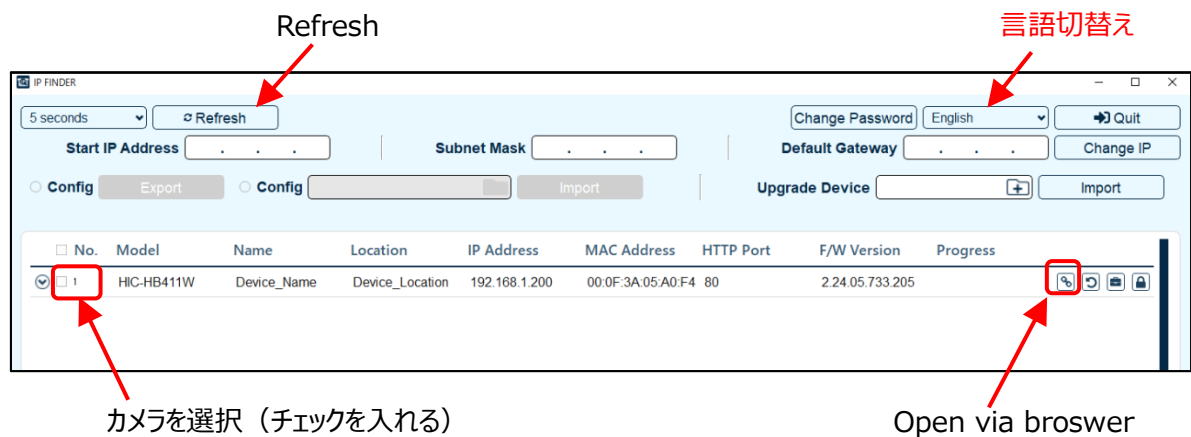
LAN では、IP カメラへのアクセス方法は 3 つあります。

2.1.1. IP Finder によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① IP Finder を弊社サイトから PC(コンピュータ)にインストールしておきます。
- ② PC と IP カメラが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ インストールした IP Finder を起動すると、以下のように動作します。（※初めて起動したときは言語が中国語になってます。言語切替えをクリックして英語に切り換えることができます。）



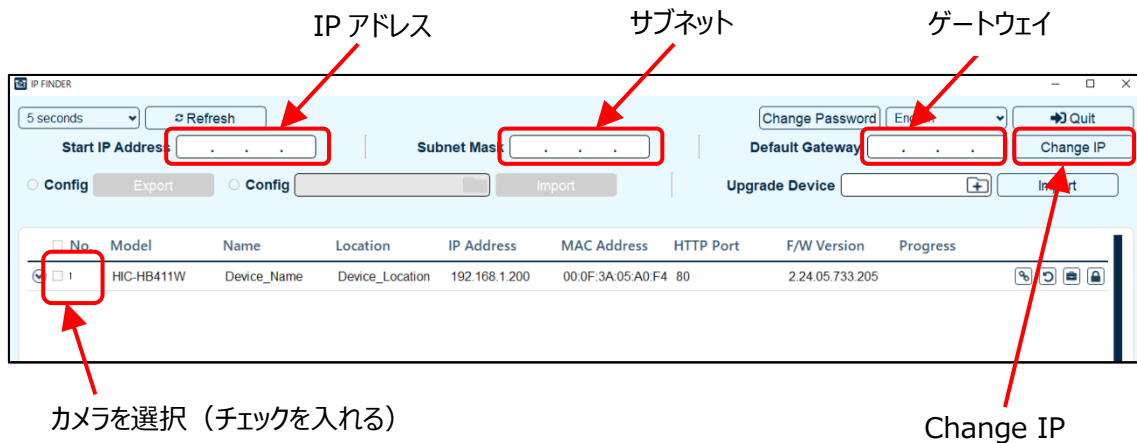
「Refresh」をクリックすると、接続されているカメラを再検索します。

「Open via browser」をクリックすると、ブラウザが起動し、選択した IP カメラに接続してログイン画面を表示します。もし接続されているカメラ数が多く、目的のカメラを発見できない時は、一度カメラの電源を OFF し、しばらくしてから再度起動します。すると、そのカメラはリストから消失、再表示しますので特定しやすくなります。

- ④ 必要に応じて IP アドレスを変更します。

IP アドレス変更方法①

変更したいカメラをクリックしてカメラを選択してから、IP アドレス、サブネット、ゲートウェイを入力します。アドレスを入力後、「Change IP」をクリックすると Username と Password を入力する画面が表示されます。Username と Password を入力したら「OK」をクリックすると IP アドレスが変更されます。



The 'User Info' dialog box is shown. It has a title bar with a close button. Inside, there are two text input fields: 'Username' and 'Password'. Below the fields are two buttons: 'OK' and 'Cancel'.

User name の初期値は“**admin**”、Password の初期値は “**admin**” です。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、カメラの IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。

IP アドレス変更方法②

The screenshot shows the 'IP FINDER' web interface. At the top, there are fields for 'Start IP Address', 'Subnet Mask', and 'Default Gateway'. Below these are buttons for 'Config', 'Export', 'Import', 'Upgrade Device', and 'Import'. A table lists discovered devices, with the first device 'HIC-HB411W' selected. Below the table is the 'Modify Device' form. The form has several sections: 'Authentication' with 'User Name' and 'Password' fields; 'Basic Information' with 'Device Name', 'Device Location', 'HTTP Port', and 'RTSP Port' fields; 'Network Information' with 'IP Address', 'Subnet Mask', and 'Default Gateway' fields; and 'DNS Information' with 'Primary DNS Address' and 'Second Primary DNS Address' fields. Red circles and arrows indicate the steps for changing the IP address: ① points to the selected device in the table; ② points to the 'User Name' field; ③ points to the 'Password' field; ④ points to the 'IP Address' field; ⑤ points to the 'Subnet Mask' field; ⑥ points to the 'Default Gateway' field; and ⑦ points to the 'Update' button at the bottom right of the form.

- ① クリックすると IP アドレスの詳細を表示します。
- ② Username を入力します。(初期値 : admin)
- ③ Password を入力します。(初期値 : admin)
- ④ IP アドレスを入力します。(初期値 : 192.168.1.200)
- ⑤ サブネットを入力します。(初期値 : 255.255.0.0)
- ⑥ ゲートウェイを入力します。(初期値 : 192.168.1.254)
- ⑦ ②～⑥を入力後、「Update」をクリックすると、すぐに変更されます。

注 : パソコンの設定によって、IE が起動する場合があります。本機は **Internet Explorer は未サポート** のため、一度終了して、別の Web ブラウザ (Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox) で再度ログインしてください。

ブラウザでログイン画面が表示されたら、表示する言語を選択してから、ユーザ名とパスワードを入力して、ログインしてください。ユーザ名やパスワードを記憶しておくと次回ログインからは[ログイン]ボタンのクリックのみでログインできます。使用環境に合わせてチェックして設定してください。

デフォルトパスワードを使用すると下図が表示されてパスワードの変更を求められます。そのまま使用を継続するか、24 時間後に再通知とするか、あるいは、パスワードを変更するかを選択して[保存]ボタンをクリックします。パスワードを変更する場合は、「**8～16 文字。英数字で大文字、小文字が含まれる**」文字列としてください。

[保存]をクリックすると、もとのログイン画面に戻ります。パスワードを変更した場合はパスワードを再度入力しなおしてから、[ログイン]ボタンをクリックします。なお、デフォルトのパスワードを継続すると、ログインのたびに以下が表示されます。セキュリティ強化のためパスワードの変更を推奨します。

2.1.2. Microsoft Edge でカメラに直接アクセス

出荷時のカメラのネットワーク設定は以下の通りです。

IP アドレス : 192.168.1.200	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.1.1	HTTP ポート : 80

LAN ケーブルを使用して、カメラとコンピュータを直接接続します。



- ① PC の IP アドレスを、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメント（192.168.1.*）に設定します。PC のコントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。（例：Windows10）
- ② イーサネットのプロパティから「インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を開きます。PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し、「OK」をクリックします。
- ③ ブラウザを開き、IP カメラのデフォルト IP アドレスを入力します。
- ④ ログイン画面でデフォルトのユーザ名とパスワードを入力し、ログインをクリックします。
- ⑤ 必要なソフトが不足している場合、指示に従って、該当するプラグインをインストールして実行します。

以降は、「2.1.1IP Finder によるアクセス」と同じです。

2.1.3. レコーダ(NVR/DVR)でカメラにアクセス

出荷時のカメラのネットワーク設定は以下の通りです。

IP アドレス : 192.168.1.200	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.1.1	HTTP ポート : 80

LAN ケーブルを使用して、カメラとレコーダを接続します。



レコーダの機種により接続方法は異なりますので、詳しくはレコーダのマニュアルなどを参照してください。以下は弊社製品との例となります。

- ① レコーダの IP アドレスを、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメント（192.168.1.*）に設定します。レコーダの設定メニューで、設定→ネットワーク→TCP/IP を開き、IPv4 アドレスをカメラと同じセグメント：192.168.1.*に設定します。レコーダの IP アドレスが変更できない場合は、上述の 2 つの方法でカメラの IP アドレスを変更してください。
- ② レコーダの設定メニューで、設定→カメラ→カメラ追加→簡単追加、を開くと、192.168.1.200 の Onvif カメラが表示されていますので、編集アイコンをクリックして、カメラの IP アドレスを設定して保存します。
- ③ レコーダと同じセグメントの IP アドレスに設定した場合、暫くして IP アドレスの変更が完了すると、設定した IP アドレスで簡単追加リストに表示されます。もし、レコーダと異なるセグメントの IP アドレスに設定した場合は、カメラの IP アドレス設定が完了すると、簡単追加リストから消滅します。この場合、レコーダの IP アドレスを、カメラと同じセグメントの IP アドレスに変更することで、カメラは簡単追加リストに表示されます。
- ④ 簡単追加リストに表示されたカメラは、☑を有効にしたあと、追加をクリックするとレコーダに登録され、カメラ編集メニューに表示されます。

2.1.4. Wi-Fi ルータを介してアクセス（マスタ/スレーブ方式）

Wi-Fi アクセスポイントを通じて、カメラとコンピュータを接続します。



「2.1.1 IP Finder によるアクセス」または「2.1.2 Microsoft Edge でカメラに直接アクセス」によりカメラとコンピュータを直接接続してカメラメニューにログインします。



- ① ネットワーク→ワイヤレスネットワークを選択します。
- ② 検索をクリックすると、SSID を表示します。
- ③ 接続したい SSID をクリックします。
- ④ ネットワークタイプ：主/副（マスタ/スレーブ）を選択します。
- ⑤ セキュリティを選択します。
- ⑥ パスワード（SSID の暗号化キー）を入力します。
- ⑦ ネットワーク設定を行います。
- ⑧ 保存をクリックします。（設定が保存されます）

★ワイヤレスネットワークの設定が終わったら、カメラに接続した LAN ケーブルを抜きます。LAN ケーブルでカメラとコンピュータが直接接続されている状態では Wi-Fi 接続は有効になりません。LAN ケーブルが切断されると、Wi-Fi が有効となります。Wi-Fi が有効になると、⑦で設定した IP アドレスでカメラにアクセスできるようになります。

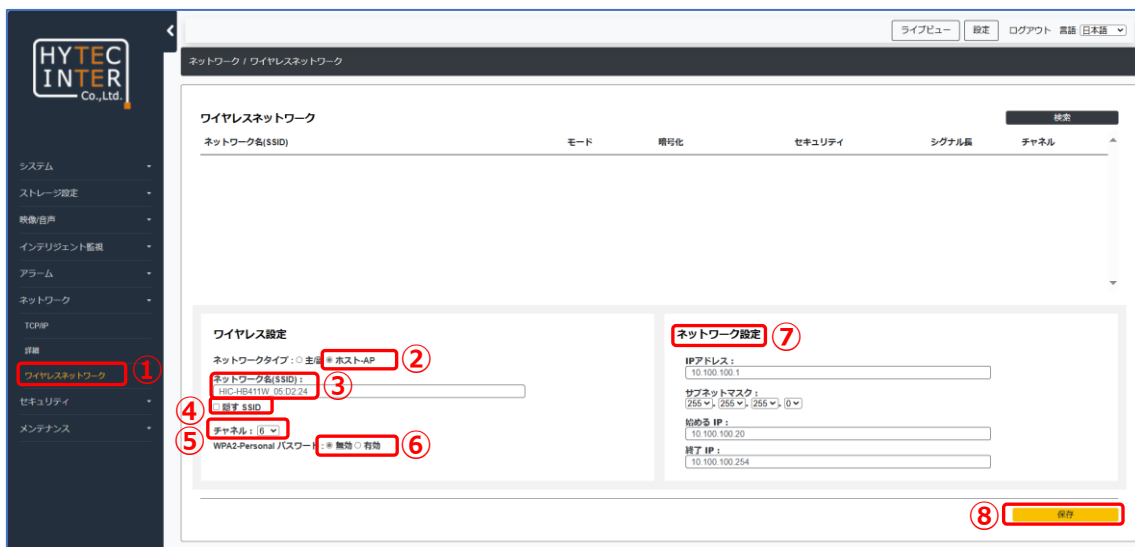
カメラの IP アドレスが不明で PC から接続できない場合は、IP FINDER を使用してカメラを検出することができます。

2.1.5. スマホ or コンピュータと直接接続（ホスト-AP 方式）

本機とスマートフォンやコンピュータを直接接続します。



「2.1.1 IP Finder によるアクセス」または「2.1.2 Microsoft Edge でカメラに直接アクセス」によりカメラとコンピュータを直接接続してカメラメニューにログインします。



- ① ネットワーク→ワイヤレスネットワークを選択します。
- ② ネットワークタイプ：ホスト-AP を選択します。
- ③ このカメラの SSID を確認します。
- ④ ステルスモードにする場合は、「隠す SSID」にチェックを入れます。
- ⑤ 2.4GHz Wi-Fi のチャンネルを設定します。
- ⑥ パスワード（SSID の暗号化キー）を有効にする場合は、有効にチェックを入れてパスワードを入力します。
- ⑦ ネットワーク設定を行います。
- ⑧ 保存をクリックします。（設定が保存されます）

★ワイヤレスネットワークの設定が終わったら、カメラに接続した LAN ケーブルを抜きます。LAN ケーブルでカメラとコンピュータが直接接続されている状態では Wi-Fi 接続は有効になりません。LAN ケーブルが切断されると、Wi-Fi が有効となります。PC やスマホで Wi-Fi ネットワークを検索し、③で確認した SSID の Wi-Fi ネットワークに⑥のパスワードで接続します。ブラウザなどに⑦の IP アドレスを入力して、カメラにログインします。

2.2. WAN

WAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.2.1. ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① カメラがローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインします。
- ② 設定>ネットワーク>詳細メニュー(「4.6.2 詳細」を参照)に移動して、ポート番号を設定します。

Port	
<input checked="" type="checkbox"/> HTTP有効	ポート <input type="text" value="80"/>
<input checked="" type="checkbox"/> RTSP有効	ポート <input type="text" value="554"/>
<input checked="" type="checkbox"/> FTP有効	ポート <input type="text" value="21"/>
<input checked="" type="checkbox"/> UPnP有効	
<input checked="" type="checkbox"/> ARP/Ping有効	

- ③ 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(「4.6.1 TCP/IP」を参照)に移動して、IP アドレスを設定します。「固定 IP アドレス」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4	DNSサーバーアドレス
<input checked="" type="radio"/> DHCP サービス <input type="radio"/> 固定 IP アドレス IP アドレス： <input type="text" value="192.168.1.200"/> サブネットマスク： <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> ゲートウェイ： <input type="text" value="192.168.1.254"/>	プライマリ1： <input type="text" value="168.95.1.1"/> セカンダリ2： <input type="text" value="168.95.192.1"/>

WAN 経由で通信する場合は、ルータでポートフォワーディングの設定をする必要があります。
HTTP ポートをフォワーディングしてください。

- ④ Web ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例：http://172.16.100.216:8005

以降は、「2.1.1 IP Finder によるアクセス」と同じです。

2.2.2. 静的 IP によるアクセス

ネットワーク接続：

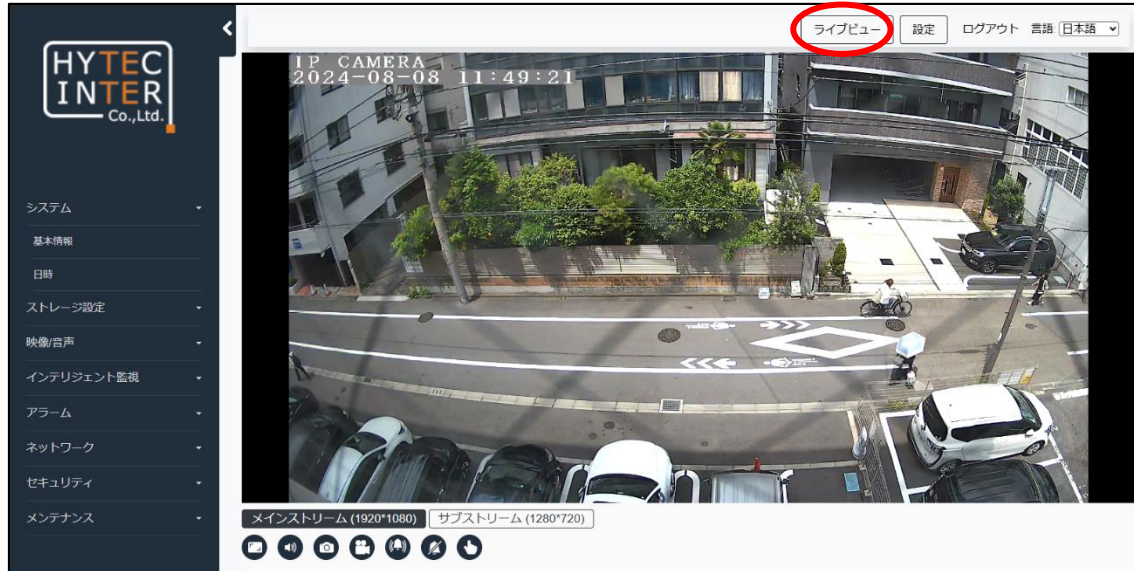


- ① 設定>ネットワーク>詳細メニュー(「4.6.2 詳細」を参照)に移動して、ポート番号を設定します。
- ② 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(「4.6.1 TCP/IP」を参照)に移動して、IP アドレスを設定します。「固定 IP アドレス」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。
- ③ Web ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。
例：http:// 172.16.100.216:8005








以降は、「2.1.1 IP Finder によるアクセス」と同じです。

3. ライブ画面

右上の“ライブビュー”タブを開きます。



ライブ画面のアイコン説明(中央下)

アイコン	説明	アイコン	説明
	フルスクリーン ※1		音声を聞きます ※2
	スナップショットを作成して PC にダウンロードします。		録画を行います。再度クリッ クすると終了して PC に録 画ファイルをダウンロードしま す。※3
	警報音を鳴らします。 ※4		警報音をオフにします。 ※4
	手動トリガーを発報しま す。録画またはスナップシ ョットの映像は SD カード に保存します。※5		
<div>メインストリーム (1920*1080)</div> <div>サブストリーム (1280*720)</div>	再生するライブ画面の解像度を、メインストリーム / サブストリームから 選択します。各ストリームの設定は、「4.3.2 映像」で行います。		

※1 フルスクリーンモードの終了方法は、キーボードで[ESC]キーを押してください。

※2 内蔵マイクロフォンの音が聞こえます。

※ 3 長時間の録画の場合、録画ファイルは約 100MB ごとにダウンロードされます。各ファイルの録画時間は設定された映像パラメータにより変化します。ブラウザによっては複数のファイルのダウンロードに許可が必要な場合がありますので、許可をしてください。**録画中に別の画面に移動したり、ブラウザを閉じたりするとダウンロードされません**ので、必ず録画を停止してから他の動作を行ってください。

※ 4 内蔵スピーカーからの警報音を鳴らしたり止めたりできます。

※ 5 手動トリガーは、「4.5.3 イベント」であらかじめ設定が必要です。

4. 設定画面

右上の“設定”タブをクリックするか、左側メニューで該当の設定項目をクリックします。



画面のタブの説明(上部)

項目	説明
	左側のメニューを表示・非表示にします
	ライブ画面を表示します
	設定画面を表示します
ログアウト	ログアウトします
言語:	必要に応じて表示言語を設定します

以降に左側の設定項目について説明します。

4.1. システム

基本情報と日時の2つのサブメニューがあります。



4.1.1. 基本情報

モデル名や設置場所、ソフトウェアバージョン、IP アドレスなど、基本的な情報を表示します。



「デバイス名」と「設置場所」は変更が可能です。変更する項目を入力して[保存]ボタンをクリックして、設定を反映させます。

4.1.2. 日付と時間

装置の日付と時間の設定を行います。

システム / 日時

システム時間の設定

☐ サマータイム有効

DST 開始:

01 月 1st 日 00 時

DST 終了:

12 月 終了 土 23 時

システム日 : **2024-08-08**

システム時間 : **14:08:30**

タイムゾーンを選択してください

GMT+09:00: 大阪、札幌、東京、ソウル

☒ コンピュータの時刻と同期する

システム日 : 2024-08-08 システム時間 : 14:08:31

☐ NTPサーバによる同期

次のNTPサーバアドレスを使用:

pool.ntp.org ☐ From DHCP

10 毎分

☐ 手動設定

システム日 :

2024 8

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

システム時間 : 14 : 06 : 06

選択した年月日 :

2024-8-8

保存

- サマータイム(DST)
サマータイムの開始と終了を設定します。
それぞれ、月の第 X 曜日から Y 時間ずらすかを設定できます。
サマータイム有効をチェックして有効にします。
- タイムゾーン
プルダウンメニューからタイムゾーンを選択して設定を行います。
- 日時合わせ
日付と時刻の設定は 3 つの方法があります。
- ◆ **コンピュータの時刻と同期**
Web ブラウザを表示している PC の時刻に同期します。
- ◆ **NTP**
「NTP サーバによる同期」を選択します。
NTP サーバのアドレスを入力します。

◆ **手動**

「手動設定」を選択します。

右側に表示されているカレンダーから日付を選択して、時間を入力します。

最後に「保存」ボタンをクリックして設定を反映させます。

4.2. ストレージ設定

ストレージ情報と録画ファイル検索の2つのサブメニューがあります。



4.2.1. ストレージ情報

本体底面のゴムキャップを外して SD カードを取付けます。。取付け後、SD カードをフォーマット（初期化）して使用できるようにします。（SD カードの容量：8GB～256GB）

SD カードを取付けただけでは SD カードを認識しません。（ステータス表示が SD カード無し）

- ① SD カードを取付けたら、「マウント解除」にチェックを入れてから「保存」をクリック。
- ② 「SD カードをマウント」にチェックを入れてから「保存」をクリック。
- ③ ステータスが正常にならなければ、もう 1 度「保存」をクリック。
- ④ ステータスがストレージを確認中→正常に変わります。
- ⑤ SD カードを初期化するときには、フォーマットの「実行」をクリックします。

ステータス表示が以下のように変わります。

「ストレージを初期化中です。お待ちください。」



「システムがストレージを初期化中です。お待ちください。」



「正常」

SD カードの状態により「システムがストレージを初期化中です。お待ちください。」が表示されないことがあります。録画ファイルを作成するときの間隔を設定します。60～300 秒（初期値：60 秒）

4.2.2. 録画ファイル検索

SD カードに保存された動画ファイルまたは静止画ファイルを再生できます。

検索条件を設定 検索

検索結果

保存データが残っている日には青（静止画のみ）、赤（動画のみ）、緑（静止画と動画が共存）の色で表示します。「検索」ボタンをクリックする前に、検索条件①～④を設定します。

- ① 日付をクリックします。
- ② 開始と終了の時間を設定します。
- ③ ファイル形式を JPG または AVI にチェックを入れます。
- ④ 検索対象トリガーを選択します。
- ⑤ 「検索」をクリックすると、ファイルリストに結果を表示します。

検索結果を再生するときはファイルリスト右側の  または  をクリックしてください。
ファイルリスト左側のウィンドウに再生します。

※動画を再生するとき、録画してる時間より短い時間で再生が止まる場合があります。そのときはコンピュータにダウンロードしてから再生プレイヤーなどをご利用して再生お願いします。

ファイル名をクリックするとパソコンのダウンロードフォルダにダウンロードします。

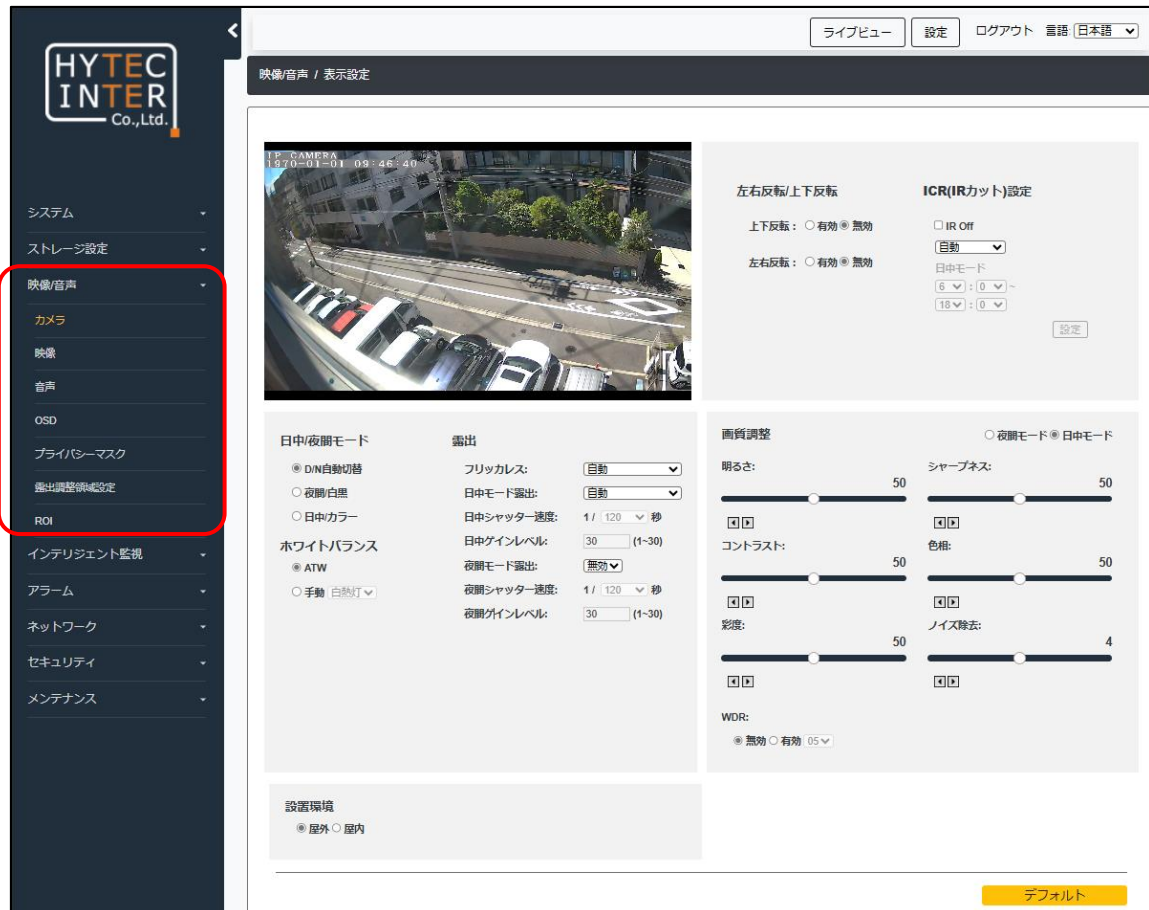
または、左端のチェックボックスに複数チェックしてからダウンロードボタンをクリックすると纏めてダウンロードフォルダに保存されます。



※注意：jpg 形式の静止画像はダウンロードできません。

4.3. 映像/音声

カメラ、映像、音声、OSD、プライバシーマスク、露出調整領域設定、ROI、7つのサブメニューがあります。




4.3.1. カメラ

カメラの画質(輝度(明るさ)、コントラスト(明暗)、彩度(色の濃さ)、色相(色合い)など)に関するパラメータを設定します。

映像/音声 / 表示設定

IP CAMERA
192.0.0.1 09:50:07



左右反転/上下反転

上下反転: ☐有効 ☒無効

左右反転: ☐有効 ☒無効

ICR(IRカット)設定

☐ IR OFF

(自動) ▼

日中モード

6 ▼ : 0 ▼ ~

18 ▼ : 0 ▼

設定

日中/夜間モード

☒ D/N自動切替

☐ 夜間/白黒

☐ 日中/カラー

ホワイトバランス

☒ ATW

☐ 手動 白熱灯 ▼

露出

フリッカレス: 自動 ▼

日中モード露出: 自動 ▼

日中シャッター速度: 1 / 120 ▼ 秒

日中ゲインレベル: 30 (1~30)

夜間モード露出: 無効 ▼

夜間シャッター速度: 1 / 120 ▼ 秒

夜間ゲインレベル: 30 (1~30)

画質調整

☐ 夜間モード ☒ 日中モード

明るさ: 50

シャープネス: 50

コントラスト: 50

色相: 50

彩度: 50

ノイズ除去: 4

WDR: ☒無効 ☐有効 05 ▼

設置環境

☒ 屋外 ☐ 屋内

デフォルト

表示	説明
上下反転	カメラ画像を上下反転させます。
左右反転	カメラ画像を左右反転させます。
ICR(IR カット)設定	カラー撮影(日中)、白黒撮影(夜間)の切り替えに関する設定です。自動切換え、昼間(日中)固定、夜間固定、スケジュールが選択できます。スケジュールを選択した場合は、日中モードの時間帯を設定してください。開始時刻と終了時刻を選択して[設定]ボタンをクリックします。IR OFF にチェックを入れると、赤外 LED を強制オフします。
日中/夜間モード	D/N 自動切替(日中/夜間の自動切換え)、夜間/白黒、日中/カラーを選択できます。

ホワイト バランス	ATW	ホワイトバランスを自動調整したいときに選択します。環境に応じて自動的に色温度を調整します
	手動	手動を選択した場合、次から5つから選択します。 白熱灯、蛍光灯、日光、曇り、日陰
露出	フリッカレス	ちらつきを防止します。自動/50Hz/60Hz から選択します。
	日中モード露出	自動/手動から選択します。
	日中シャッター速度	日中モード露出が手動の場合、シャッター速度を設定します。
	日中ゲインレベル	日中モード露出が手動の場合、ゲイン値を設定します。ゲイン値が大きいほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。
	夜間モード露出	夜間モードの場合の設定を、無効/手動/自動から選択します。
	夜間シャッター速度	夜間モードが手動設定の場合に、シャッター速度を設定します。
	夜間ゲインレベル	夜間モードが手動設定の場合に、ゲイン値を設定します。
画質調整	夜間モード	夜間モードの設定を行います。
	日中モード	日中モードの設定を行います。
	明るさ	画像の明るさを調整します。
	コントラスト	画像の明暗を調整します。
	彩度	鮮やかさを調整します。（0 に設定すると白黒画像になります。）
	シャープネス	画像の輪郭強調レベルを調整します。
	色相	画像の色合いを調整します。
	ノイズ除去	デジタルノイズ除去レベルを設定します。
	WDR	ワイドダイナミックレンジを有効にして値を設定します。（初期値 5）
設置環境		屋内/屋外を選択をします。
[デフォルト]ボタン		初期値に戻します

4.3.2. 映像

映像の IP ストリーム(圧縮方式（コーデック）や解像度、フレーム数、ビットレートなど)を設定します。

映像/音声 / 映像設定

ストリーム：
メインストリーム

URL：
v01

解像度：
2560*1440

フレームレート：
30
(1~30)

ビットレート：
3072
(1536~7168)

コーデック：
H.265

GOP：
30
(1~50)

エンコード方式：
CBR

品質：
真ん中

JPEG画質：
50
(1~80)

ストリーム：
サブストリーム

URL：
v02

解像度：
1280*720

フレームレート：
30
(1~30)

ビットレート：
1024
(256~2048)

コーデック：
H.265

GOP：
30
(1~50)

エンコード方式：
CBR

品質：
真ん中

JPEG画質：
50
(1~80)

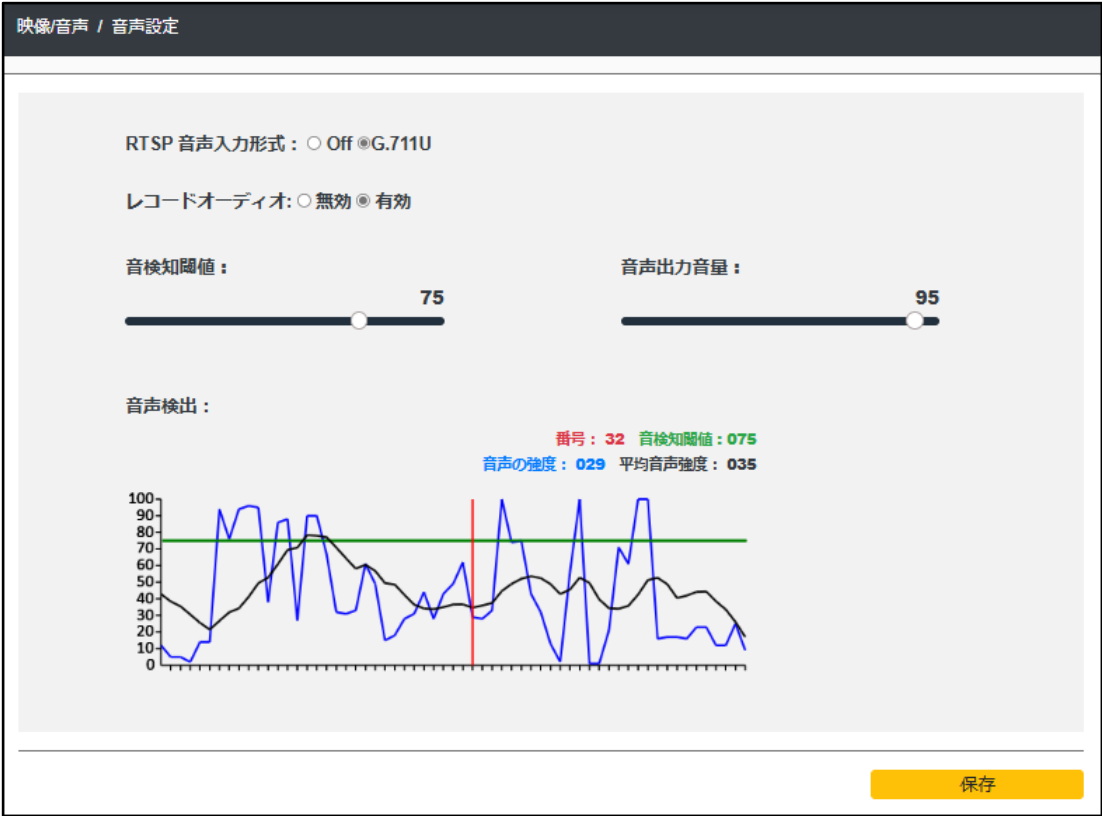
保存

表示	説明
URL	ストリーム配信パス名になります。
解像度	カメラ画像の表示解像度を設定します。
フレームレート	フレームレートを設定します。 フレームレートの数値が大きいほど、映像は滑らかになります。
ビットレート (Kbps)	エンコード方式で CBR を選択した場合、ビットレート設定ができます。 ビットレートの数値が大きいほど、画質が向上します。
コーデック	H.265/H.264 を選択します。
GOP	I-フレームの送信間隔を設定します。
エンコード方式	VBR または CBR から選択します。 VBR：可変ビットレート / CBR：固定ビットレート
品質	VBR を選択した場合、ビデオ品質設定ができます。 品質が高いほど、ビットレートの数値は大きくなります。
JPEG 画質	変更できません。（サポート対象外）

最後に[保存]ボタンをクリックして、設定を反映させます。

4.3.3. 音声

音声に関する設定を行います。



表示	説明
音声入力形式	音声のコーデックを設定します。
レコードオーディオ	SD カードへ録画するとき録音を有効にします。
音検知閾値	音声の検知レベルを設定します。
音声出力音量	音声の出力レベルを設定します。
音声検出	カメラに内蔵したマイクで音を検出すると青線を表示します。 緑色の横線は音検出閾値です。 黒線は音声レベルの平均値です。 赤色の縦線は横軸の左端が番号 00、右端が 60 で、その番号のときの数値を表示します。

最後に[保存]ボタンをクリックして、設定を反映させます。

4.3.4. OSD

OSD（On Screen Display）に関する設定を行います。

映像/音声 / OSD



OSD設定

☒ カメラ名:

背景色

グレー

▼

フォントの色

白

▼

☒ 日付/時間

表示位置:

左上

▼

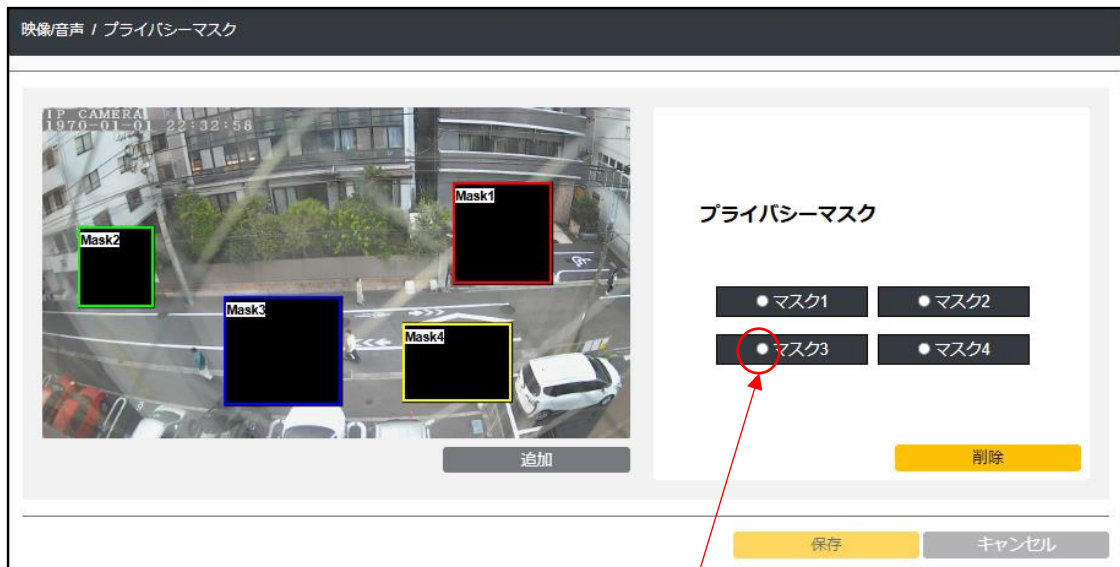
保存

表示	説明
カメラ名	チェックを入れ、有効にします。 カメラ名を入力すると、ディスプレイ上にカメラ名が表示されます。半角20文字まで入力できます。 ※全ての感じには対応していません。表示できない漢字があります。
背景色	文字の背景色を変更できます。
フォントの色	文字の色を変更できます。
日付/日時	チェックを入れ、有効にします。
表示位置	カメラ名と時間を表示する場合の表示位置を選択します。

最後に[保存]ボタンをクリックして、設定を反映させます。

4.3.5. プライバシーマスク

プライバシー保護のためのマスク設定を行います。プライバシーマスクは最大 4 か所に設定できます。



削除するときクリックして選択します

プライバシーマスクの設定方法

- ① 「追加」ボタンをクリックしてから、マウスをクリックしたまま該当するエリアへ四角い枠をドラッグして移動させます。
- ② ①でエリアを設定したら「保存」ボタンをクリックします。「保存」ボタンをクリックすると、プライバシーマスクを保存してプライバシーマスクの欄にマスク 1 ～マスク 4 まで表示します。
- ③ プライバシーマスクを削除するときはマスク表示の前の白丸をクリックして「削除」ボタンをクリックします。マスク 1 ～ 4 まで設定しているとき、途中のマスク 2 を削除することも可能です。（※複数を纏めて削除することは出来ないので 1 つずつ削除する必要があります。）

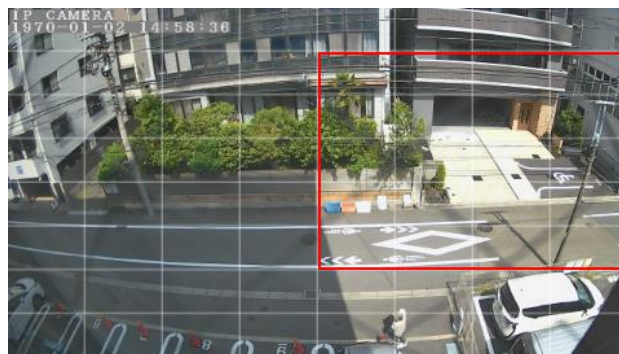
4.3.6. 露出調整領域設定

露出調整を行う領域を設定します。1 か所に設定できます。「4.3.1 カメラ」で露出を自動に設定した場合のみ有効です。



露出調整領域の設定方法

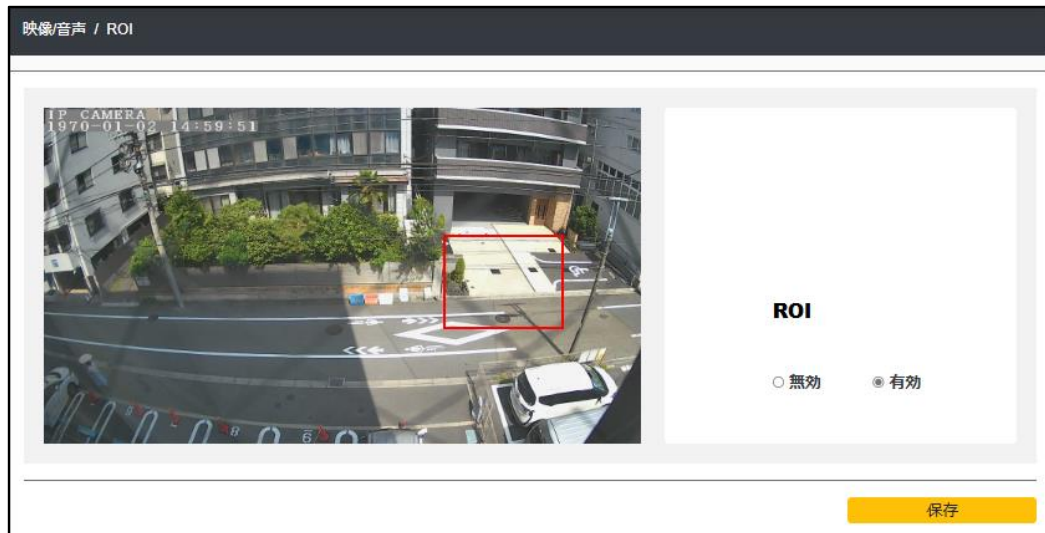
- ① 枠の右側、下側付近にマウスカーソルを移動すると表示される矢印に従い、枠を拡大・縮小します。
- ② 赤い四角の枠内でクリックしたまま、設定したいエリアへ四角い枠をドラッグして移動させます。



- ③ 最後に[保存]ボタンをクリックして設定を反映させます。

4.3.7. ROI (Region of Interest)

ROI を行う領域を設定します。1 か所に設定できます。



ROI 領域の設定方法

- ① [有効]をチェックします。
- ② 画像の赤い四角の枠が大きい場合は、マウスカーソルを枠付近に移動すると表示される矢印に従い枠を縮小します。
- ③ 赤い四角の枠内でクリックしたまま、設定したいエリアへ四角い枠をドラッグして移動させます。



- ④ 最後に[保存]ボタンをクリックして設定を反映させます。

4.4. インテリジェント監視

境界線超え、シーンチェンジ、2つのサブメニューがあります。



4.4.1. 境界線超え

境界線超えでは、AIによって検出ターゲット（人間と顔）を認識し、検出したターゲットが、設定した境界線を指定した方向に超えると、イベント設定に従って録画や通知を行います。

イベントとして、SDカード録画、SDカード静止画保存、E-Mail通知、FTPサーバ転送、を設定することができます。イベントは、「4.5.3 イベント」で設定をします。



境界線超えの設定方法

- ① 境界線超え（LS）にチェックを入れると検出ラインを表示します。
- ② 検出ラインの両端をドラッグして、検出ラインの位置を変更します。
- ③ 検出対象（人間 / 顔）を選択します。
- ④ 検出ラインに対する検出方向を設定します。
- ⑤ 最後に[保存]ボタンをクリックして設定を反映させます。



※人を検出できる**最小の大きさは、画面高さの約 20%**です。

参考：以下の例では人の大きさが約 10%程度の大きさです。



4.4.2. シーンチェンジ

シーンチェンジでは、カメラの向きが変わる、映像が大きく変化するなどを検出すると、イベント設定に従って録画や通知を行います。

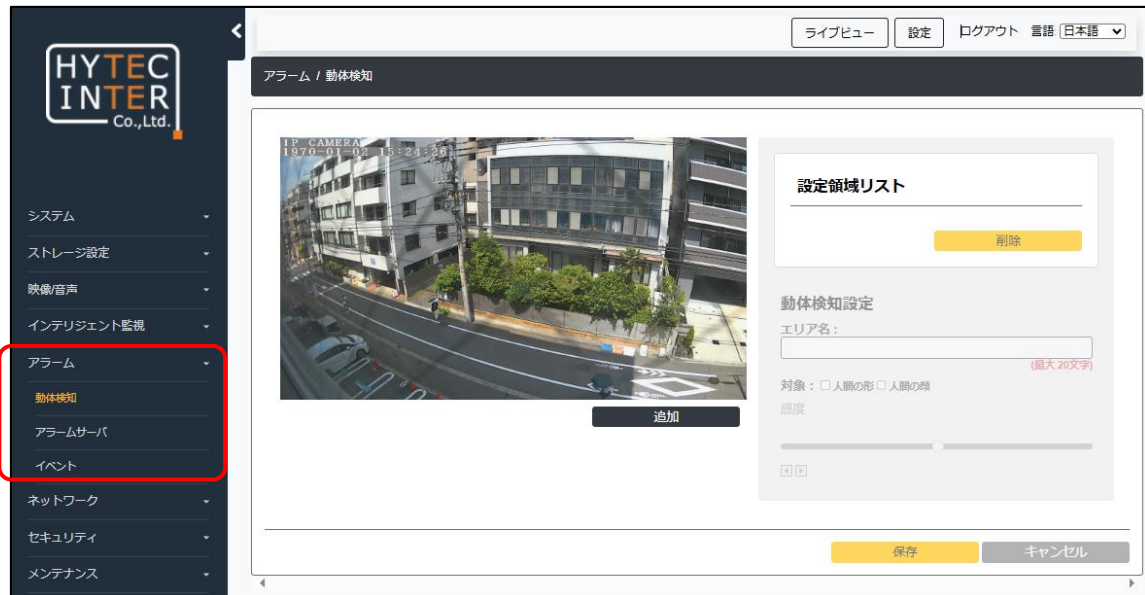
イベントとして、SD カード録画、SD カード静止画保存、E-Mail 通知、FTP サーバ転送、を設定することができます。イベントは、「4.5.3 イベント」で設定をします。

シーンチェンジの設定方法

- ① シーンチェンジ 有効にチェックを入れます。
- ② シーンチェンジを検出する感度を設定します。数字を大きくすると感度が高くなります。
(初期値:50)
- ③ 最後に[保存]ボタンをクリックして設定を反映させます。

4.5. アラーム設定

動体検知、アラームサーバ、イベント、3つのサブメニューがあります。



4.5.1. 動体検知

動体検知のエリア設定を設定します。



動体検知領域を追加（最大4か所）

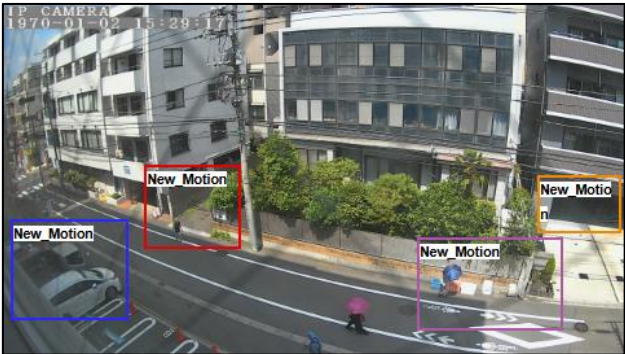
➤ 検知領域追加と削除

追加ボタンをクリックして新規領域を追加します。最大で 4 か所の領域を設定できます。または、設定済みの領域名の左横のチェックボックスにチェックすると、右側下に設定内容が表示されますので、内容を変更できます。

設定済みの領域名の左横のチェックボックスをチェックしてから削除ボタンをクリックすると、その領域が削除されます。

➤ 動体検知設定

動体検知のアラームを設定します。



画面の四角を希望する領域にあわせて移動や拡大縮小を行います。

移動：設定領域リストから移動したいものにチェックを入れます。チェックを入れたら四角（検出領域）の中でマウスの左ボタンを押しながらドラッグして、四角（検出領域）を移動させます。

拡大縮小：設定領域リストから拡大縮小したいものにチェックを入れます。四角の枠線上でカーソルの変化に合わせて左ボタンを押しながらドラッグして、拡大や縮小を行います。

右側下の入力項目は各検出領域のパラメータ値を変更できます。

動体検知設定

エリア名:
 (最大 20文字)

対象: ☐ 人間の形 ☐ 人間の顔

感度
 85

表示	説明
エリア名	動体検知領域の名称です。四角内の左上に表示されます。 追加時は[New_Motion]になっています。

	※英数字のみ入力可能です。漢字、カタカナ、ひらがな、記号は入力できません。
対象	チェックを入れない場合、映像に変化があったときに検出します。そのため意図しないものにも検出します。 人間の形、人間の顔を検出させたいときはチェックを入れます。
感度	動体検知の感度です。数値が大きいと検知頻度は上がりますが、誤検知も多くなります。数値が小さいと検知できない可能性が上がります。環境に合わせて最適な値に設定します。

最後に、[変更]ボタンをクリックして設定を反映させます。

4.5.2. アラームサーバ

動体検知した時に通知するサーバを設定します。

FTPとSMTP(メール)が設定できます。各 4 つずつ登録できます。

アラーム / アラームサーバ

FTP追加

SMTP追加

(注: イベントサーバの最大数は4です。)

FTPサーバ

名前:

ネットワークアドレス:

ポート:

アップロードパス:

ユーザ名:

パスワード:

テスト

保存

イベントサーバリスト

名前	プロトコル	アドレス	アップロードパス	ユーザ名
FTP	FTP	192.168.1....	/	admin

➤ FTP 通知

上記のアラームサーバ画面で FTP 追加ボタンをクリックするか、イベントサーバリストから設定済みの FTP プロトコル行をクリックすると、下図の設定画面が表示されます。

内容を入力し、[テスト]ボタンで正常性を確認後、保存ボタンをクリックして設定を反映させます。

FTP追加

SMTP追加

(注: イベントサーバの最大数は4です。)

FTPサーバ

名前:

ネットワークアドレス:

ポート:

アップロードパス:

ユーザ名:

パスワード:

テスト

保存

表示	説明
名前	他の設定と区別できるように設定名を入力してください。
ネットワークアドレス	FTP サーバのアドレスを入力してください。

ポート	FTP サービスのポート番号を入力してください。
アップロードパス	画像ファイルを送信するサーバのフォルダを指定します。設定するユーザが書き込みアクセス可能なフォルダである必要があります。
ユーザ名	FTP サーバへログインするユーザ名を入力してください。
パスワード	ログインに必要なパスワードを入力してください。

➤ SMTP 通知

上記のアラームサーバ画面で SMTP 追加ボタンをクリックするか、イベントサーバリストから設定済みの SMTP プロトコル行をクリックすると、下図の設定画面が表示されます。

[プロトコル]で選択できるプロトコルで電子メールの送信が可能なサーバに限ります。

内容を入力し、[テストメール]ボタンで電子メールの送信が正常であることを確認し、保存ボタンをクリックして設定を反映させます。

表示	説明
名前	他の設定と区別できるように設定名を入力してください。
電子メールアドレス	送信するメールアドレスを入力してください。（複数のメールアドレスは設定できません。）
メールサーバ	メールサーバのネットワークアドレスを入力してください。
ポート	SMTP サービスのポート番号を入力してください。

ユーザ名	SMTP サービスへログインするユーザ名を入力してください。
パスワード	ログインに必要なパスワードを入力してください。
プロトコル	電子メールの送信プロトコルを設定してください。(None、SSL、TLS) SMTP サービスがサポートしているプロトコルである必要があります。

➤ イベントサーバリストの編集

イベントサーバリストから設定済みの行をクリックすると、内容が左側に表示され、内容を変更したり削除したりできます。内容を変更したのち[変更]ボタンをクリックすると、変更内容が保存されます。

削除する場合は、[削除]ボタンをクリックすると削除してよいか確認する画面がポップアップします。「OK」をクリックすると削除されます。

FTP追加 SMTP追加 (注: イベントサーバの最大数は4です。)

FTPサーバ

名前: FTP (最大32文字)

ネットワークアドレス: 192.168.1.111 ポート: 21 [1...65535]

アップロードパス: /

ユーザ名: admin パスワード: ***** (最小4文字、最大32文字)

テスト

削除 変更

イベントサーバリスト

名前	プロトコル	アドレス	アップロードパス	ユーザ名
FTP	FTP	192.168.1.....	/	admin
SMTP	SMTP	dc55.etius...		admin

4.5.3. イベント

動体検知した時、あるいは連続動作での処理内容を設定します。

「追加イベント」ボタンで新規のイベントを作成するか、作成したイベント行の「変更」をクリックすることで内容を修正できます。イベント行の ON/OFF ボタンをクリックして、連続動作の設定ができます。

作成したイベントを削除するときは、「削除」ボタンをクリックします。

番号	イベント名	イベントタイプ	動作スケジュール	連携動作		
1	MOTION	<input checked="" type="checkbox"/> 動体検知 → New_Motion	常時動作	・ FTP で画像をアップロード	変更	削除
2	scene change	<input type="checkbox"/> シーンチェンジ	停止	・ SDカードへ録画	変更	削除
3	manual trigger	<input checked="" type="checkbox"/> 手動トリガー	常時動作	・ FTP で画像をアップロード	変更	削除

追加イベント (注: イベント最大数は10。)

➤ イベント設定

「追加イベント」ボタンをクリックするか、作成したイベント行の「変更」をクリックすると、以下の下図が表示されます。必要な設定を行い、最後に「保存」または「変更」ボタンをクリックして設定を反映させます。

イベント設定

イベント名: MOTION (最大 20文字)

検索対象トリガー

☐ 連続録画 ☒ 動体検知 ☐ 手動トリガー ☐ 音検知

☐ 境界線超え ☐ シーンチェンジ

イベント連携動作

☒ FTP で画像をアップロード

● FTP (FTP) ▼

ポストアラーム: 20 (2 ~ 200) 秒

間隔: 5 (2 ~ 200) 秒

☐ 電子メール送信通知 (SMTP) ▼

ポストアラーム: 20 (5 ~ 200) 秒

間隔: 10 (5 ~ 200) 秒

To: (最大 80文字)

件名: (最大 80文字)

メッセージ: (最大 80文字)

☐ ファイル添付 ファイルタイプ: @JPEG

動作スケジュール

☐ 常時動作 ☐ 停止 ☒ スケジュール動作

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

日 月 火 水 木 金 土

マウスでドラッグすると複数のセルを選択できます

クリア

SDカードへ録画 (メインストリーム) ▼

● プレアラーム: 0 (0 ~ 2)

● ポストアラーム: 10 (10 ~ 200) 秒

最大録画時間はプレアラーム + ポストアラームの時間よりも長く設定してください

60 1ファイルの最大録画時間(秒) (60 ~ 300)

SDカードへスナップショット保存

● ポストアラーム: 20 (5 ~ 200) 秒

● スナップショット: v01 ▼

録画ファイル名: Image

ファイル名識別子: 日付 ▼

インターバル時間はポストアラーム時間より短く設定してください

インターバル時間: 10 (5 ~ 200) 秒

変更

表示	説明
イベント名	<p>他のイベントと区別できるように名前を入力してください。</p> <p>※英数字のみ入力可能です。漢字、カタカナ、ひらがな、記号は入力できません。</p>
検索対象トリガー	<p>対象イベントにチェックしてください。</p> <p>連続動作 : 検知に関係なく動作します。</p> <p>動体検知 : 設定した動体検知を検知した場合に動作します。</p> <p>手動トリガー : 手動で動作させるトリガーです。ライブビュー画面の手動トリガーアイコンをクリックして動作させます。</p> <p>音検知 : 音を検知した場合に動作します。</p> <p>境界線超え : AI によって検出したターゲット（人間と顔）が、設定した境界線を指定した方向に超えると動作します。</p> <p>シーンチェンジ : カメラの向きが変わる、映像が大きく変化するなどを検出すると動作します。</p>
動作スケジュール	<p>トリガーが発生する時間帯を設定します。</p> <p>常時動作 : 常時動作します。</p> <p>停止 : イベントが発生してもトリガー動作を行いません</p> <p>スケジュール動作 : 1 週間のスケジュール表でスケジュールを設定します</p>
イベント連携動作	<p>トリガーが発生した場合に動作させる処理を選択します。</p> <p>FTP で画像をアップロード : FTP で画像を送信します。アップロードする FTP サーバと送信間隔を設定してください。</p> <p>電子メール送信通知 : 電子メールで通知します。 メールサーバ、To(送信先アドレス)、件名、メッセージ、ファイル添付を設定してください。</p> <p>SD カードへ録画 : カメラに内蔵した SD カードに動画を保存します。</p> <p>SD カードへスナップショット保存 : カメラに内蔵した SD カードに静止画を保存します。</p> <p>注 : FTP と電子メールを設定するときは、事前に「4.5.2 アラームサーバ」で設定しておく必要があります。</p>

スケジュール動作

曜日と時間で動作をする時間帯を設定できます。

動作スケジュールで「スケジュール動作」を選択すると下図が表示されます。

縦軸が曜日、横軸が時間になっています。

設定したい時間帯で CTRL キーを押しながらクリックするか、ドラッグして設定します。マスが選択されると青色に変わります。再度 CTRL キーとクリックで解除できます。

クリアボタンをクリックすると、全てのマスがクリアされます。

最後に、画面右下の[変更]ボタンをクリックして設定を反映させます。

FTP で画像をアップロード

イベント連携動作で「FTP で画像をアップロード」を選択した場合、送信する FTP サーバと送信間隔を設定します。

電子メール送信通知

イベント連携動作で「電子メール送信通知」を選択した場合、送信する SMTP サーバ、送信間隔、To(送信先)、件名、メッセージ、画像ファイル添付の有無を設定します。

☒ 電子メール送信通知 SMTP ▼

ポストアラーム

20

(5 ~ 200)秒

間隔 :

10

(5 ~ 200)秒

To :

(最大80文字)

件名:

(最大80文字)

メッセージ:

(最大80文字)

☐ ファイル添付 ファイルタイプ : ●JPEG

SD カードへ録画

イベント連携動作で「SD カードへ録画」を選択した場合、プレアラーム時間、ポストアラーム時間、録画時間を設定します。

☒ SDカードへ録画 メインストリーム ▼

■ プレアラーム :

0

(0~2)

ポストアラーム

10

(10 ~ 200)秒

最大録画時間はプレアラーム+ポストアラームの時間よりも長く設定してください

60

1ファイルの最大録画時間(秒) (60~300)

プレアラーム時間はイベントが発生する直前（0 秒～2 秒）の映像を残す機能です。

ポストアラーム時間はイベントの発生が終わった後の映像（10 秒～200 秒）を残す機能です。

SD カードへスナップショット保存

イベント連携動作で「SD カードへスナップショット保存」を選択した場合、ポストアラーム時間、スナップショット（メインストリームまたはサブストリーム）、録画ファイル名、ファイル名識別子、インターバル時間を設定します。

☒ SDカードへスナップショット保存

ポストアラーム: 秒(5 ~ 200)

スナップショット:

録画ファイル名:

ファイル名識別子:

インターバル時間はポストアラーム時間より短く設定してください

インターバル時間: 秒(5 ~ 200)

静止画の枚数はポストアラームで設定した時間とインターバル時間の割り算で決まります。

例えば、ポストアラーム 20 秒、インターバル時間 5 秒のときは 5 秒間隔の静止画が 4 枚作られます。

※検索対象トリガーが連続録画を選択しているとき、ポストアラーム時間は表示しません。

※「SD カードへ録画」と「SD カードへスナップショット保存」は同時に設定することができません。

4.6. ネットワーク

TCP/IP、詳細、ワイヤレスネットワーク、3つのサブメニューがあります。



4.6.1. TCP/IP

ネットワークの設定を行います。

最後に保存ボタンをクリックして設定を反映させます。



IPv4 の設定方法

◆ DHCP

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 固定 IP アドレス

IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。

DNS の設定方法

プライマリおよびセカンダリの DNS サーバを設定します。

最後に[保存]ボタンをクリックして設定を反映させます。

4.6.2. 詳細

HTTP、RTSP、FTP、UPnP、ARP/Ping の設定を行います。

最後に[保存]ボタンをクリックして設定を反映させます。

ネットワーク / 詳細

Port

☐ HTTP有効

ポート

☒ RTSP有効

ポート

☒ FTP有効

ポート

☒ UPnP有効

☒ ARP/Ping有効

RTSP設定

1. rtsp://IP:port/v01

2. rtsp://IP:port/v02

☒ 匿名
☐ 認証

ユーザ名:

パスワード:

保存

表示	説明
HTTP 有効	デフォルトの HTTP ポートは 80 です。
RTSP 有効	チェックを入れて有効にします。 デフォルトの RTSP ポートは 554 です。
FTP 有効	チェックを入れて有効にします。 デフォルトの FTP ポートは 21 です。
UPnP 有効	チェックを入れて有効にします。 UPnP 機能を持つ VMS/CMS などに自動で登録が可能になります。 ※インターネット上に設置する場合、セキュリティを考慮してください。
ARP/Ping 有効	チェックを入れて ARP や Ping 応答を有効にします。 ※インターネット上に設置する場合、セキュリティを考慮してください。

RTSP 設定	匿名か認証かを選択します。 匿名：アノニマスでアクセス可能になります。 認証：ユーザ名とパスワードでアクセス可能になります。
---------	--

※設定については、セキュリティを考慮して設定してください。

4.6.3. ワイヤレスネットワーク

本機をワイヤレスネットワークに接続するための設定を行います。

設定方法については、「2.1.4 Wi-Fi ルータを介してアクセス（マスタ/スレーブ方式）」と「2.1.5 スマホ or コンピュータと直接接続（ホスト-AP 方式）」を参照してください。

ネットワーク / ワイヤレスネットワーク

ワイヤレスネットワーク

検索

ネットワーク名(SSID)	モード	暗号化	セキュリティ	シグナル長	チャンネル

ワイヤレス設定

ネットワークタイプ：☐ 主/副 ☒ ホスト-AP
ネットワーク名(SSID)：

☐ 隠す SSID
チャンネル：
WPA2-Personal パスワード：☒ 無効 ☐ 有効

ネットワーク設定

IPアドレス：

サブネットマスク：
...
始める IP：

終了 IP：

保存

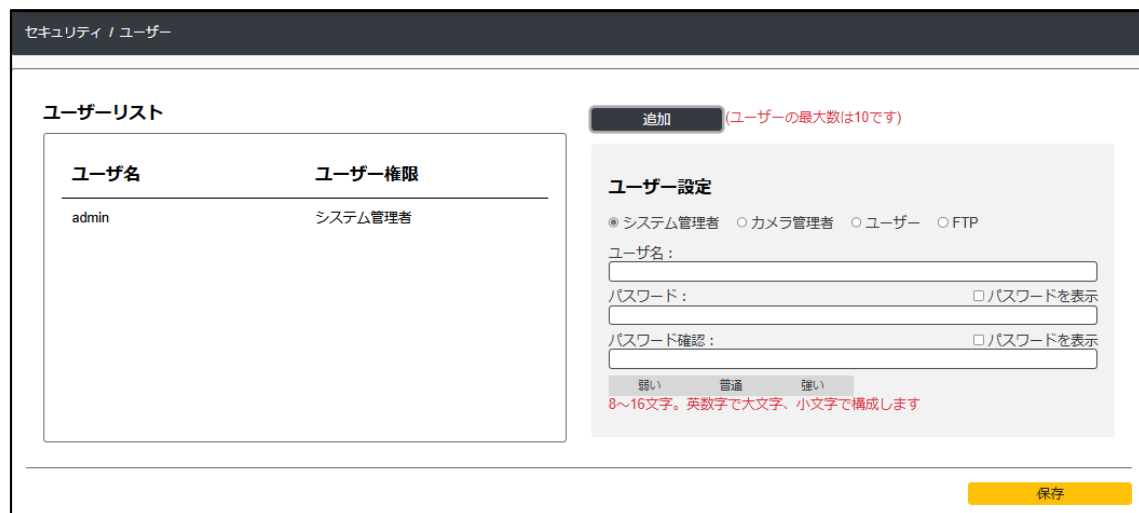
4.7. セキュリティ設定

ユーザ、オンラインリスト、MAC アドレスフィルタリング、3 つのサブメニューがあります。



4.7.1. ユーザ

ユーザの追加、変更、削除を行います。管理者アカウントの admin は削除できません。



ユーザの追加方法

- ① 右側中央上の[追加]ボタンをクリックすると、ユーザ設定が表示されます。
- ② ユーザ区分を選択します。
 - ・ システム管理者 : すべての権限を持っています。
 - ・ カメラ管理者 : 「ユーザ」、「バックアップと復元」、「再起動」、「更新」、「システムログ」のメニュー操作以外は管理者と同じ権限を持っています。
 - ・ ユーザ : 「ライブ監視」のみ可能です。設定の変更はできません。
 - ・ FTP : FTP プロトコルで PC（エクスプローラ）からカメラにログインしてファイルをダウンロードできる機能です。
- ③ ユーザ名とパスワード(とパスワード確認)を入力します。パスワードは下に示されるパスワード強度を参考に設定してください。パスワード強度が緑色にならないと保存できません。
※：パスワードは、8～16 文字で、数字および「英字の大文字、小文字」が含まれていないと作成できません。
- ④ 最後に[保存]ボタンをクリックして、設定を反映させます。

パスワードの変更方法

- ① ユーザリストのユーザ行をクリックすると、ユーザ追加と同様にユーザ設定が表示されます。
 パスワードは下に示されるパスワード強度を参考に設定してください。パスワード強度が緑色にならないと保存できません。
※：パスワードは、8～16 文字で、数字および「英字の大文字、小文字」が含まれていないと作成できません。
- ② 最後に[変更]ボタンをクリックして、設定を反映させます。

ユーザの削除方法

- ① ユーザリストのユーザ行をクリックすると、ユーザ追加と同様にユーザ設定が表示されます。
- ② [削除]ボタンをクリックして、ユーザを削除します。

4.7.2. オンラインリスト

オンライン接続状況を表示します。接続されていない場合、「なし」と表示します。

4.7.3. MAC アドレスフィルタリング

特定の IP アドレスまたは MAC アドレスからのアクセスを許可（ホワイトリスト）またはブロック（ブラックリスト）します。

設定をするときは「有効」にチェックを入れて、許可/ブロックの設定を行います。

※：ブラックリストとホワイトリストを同時に設定することはできません。

IP アドレスフィルタの追加方法

- ① 有効を選択します。
- ② 「追加」をクリックします。
- ③ 「IPv4」または「MAC」を選択します。
- ④ 「ブラックリスト」または「ホワイトリスト」を選択します。
 - ・ブラックリスト（リスト内の IP アドレスまたは MAC アドレスは接続を許可しません）
 - ・ホワイトリスト（リスト内の IP アドレスまたは MAC アドレスからの接続のみを許可します）
- ⑤ 最後に[保存]ボタンをクリックして、設定を反映させます。

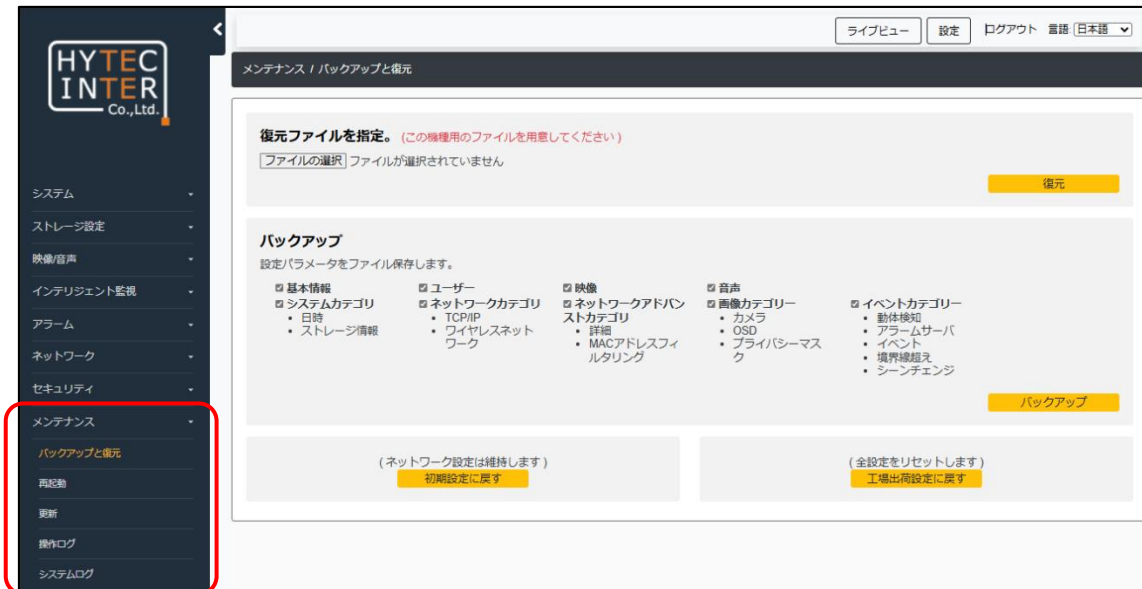
※：設定を誤るとカメラにアクセスが出来なくなります。もし、アクセス出来なくなった場合、カメラを初期状態に戻す必要があります。カメラ底面のゴム蓋を開けてリセットスイッチを 10 秒長押ししてください。ただし、設定が全て初期状態に戻ります。

IP アドレスフィルタの追加方法

- ① リストから削除したいアドレスをクリックします。
- ② [削除]ボタンをクリックすると、選択したアドレスを削除します。

4.8. メンテナンス

バックアップと復元、再起動、更新、操作ログ、システムログ、5つのサブメニューがあります。



4.8.1. バックアップと復元

システム構成のバックアップと復元、工場出荷時へのリセットを行います。



➤ 復元ファイルを指定

[ファイルの選択]をクリックして、バックアップファイルを選択します。[復元]をクリックして、設定を復元します。

復元ファイルを指定。 (この機種用のファイルを用意してください)

ファイルが選択されていません

注意：FW:2.24.05.733.205 では復元機能が動作しません。エラーとなります

➤ バックアップ

バックアップしたいパラメータにチェックを入れます。初期設定は全てのパラメータにチェックが入っています。

バックアップ

設定パラメータをファイル保存します。

<input checked="" type="checkbox"/> 基本情報 <input checked="" type="checkbox"/> システムカテゴリ <ul style="list-style-type: none"> 日時 ストレージ情報 	<input checked="" type="checkbox"/> ユーザー <input checked="" type="checkbox"/> ネットワークカテゴリ <ul style="list-style-type: none"> TCP/IP ワイヤレスネットワーク 	<input checked="" type="checkbox"/> 映像 <input checked="" type="checkbox"/> ネットワークアドバンスカテゴリ <ul style="list-style-type: none"> 詳細 MACアドレスフィルタリング 	<input checked="" type="checkbox"/> 音声 <input checked="" type="checkbox"/> 画像カテゴリ <ul style="list-style-type: none"> カメラ OSD プライバシーマスク 	<input checked="" type="checkbox"/> イベントカテゴリ <ul style="list-style-type: none"> 動体検知 アラームサーバ イベント 境界線超え シーンチェンジ
--	--	--	--	--

[バックアップ]をクリックして、設定をバックアップします。しばらくするとファイルのダウンロードがはじまります。終了したら、ダウンロードフォルダから適切なフォルダへ移動してください。

ファイル名は「HIC-HB411W.zip」で生成されます。

➤ 初期設定に戻す

「初期設定に戻す」をクリックして、設定を初期設定に戻します。ネットワーク設定は変更しません。

(ネットワーク設定は維持します)

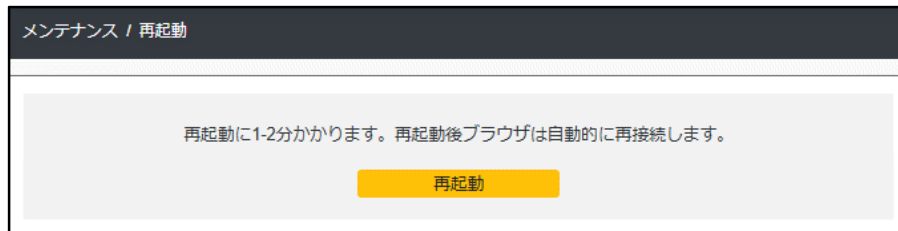
➤ 工場出荷設定に戻す

「工場出荷設定に戻す」をクリックして、設定を全て初期化します。

(全設定をリセットします)

4.8.2. 再起動

カメラの再起動を行います。



※ 再起動中は監視などの機能は動作しません。

4.8.3. 更新（カメラのソフトウェア更新）

カメラのソフトウェアを更新します。

[ファイルの選択]をクリックして、更新ファイルを指定し、[更新]ボタンをクリックします。

メンテナンス / 更新

ファームウェアバージョン：
2.24.05.733.205

MACアドレス：
00:0F:3A: ※※※※※

ファイルが選択されていません

※デバイスのアップグレード中は電源を切らないでください

※ アップグレード中はブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。

※ アップグレード中は監視などの機能は動作しません。

4.8.4. 操作ログ

操作ログを表示します。

表示させたい開始日時および終了日時、ログのタイプを選択して[検索]ボタンをクリックします。

[エクスポート]をクリックすると、PC のダウンロードフォルダにログファイルが生成されます。

ファイル名は「syslog.xls」で生成されます。

メンテナンス / 操作ログ

検索

ログリスト⇒ 開始日時(yyyy-mm-dd hh:mm:ss) ~ 終了日時(yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

開始:

2024/09/04

22

:00:00

終了:

2024/09/04

22

:59:59

モード:

メインタイプ:

すべてのログ

サブタイプ:

すべてのログ

検索

エクスポート

ログリスト

番号	時間	メインタイプ	サブタイプ	ユーザー名	ログインIP
1	2024/09/04 22:37:01	操作	正常にサインイン	admin	192.168.1.189
2	2024/09/04 22:36:47	操作	イベントの設定		
3	2024/09/04 22:36:46	操作	HTTPサーバーを構成		
4	2024/09/04 22:36:46	操作	RTSPサーバーを構成		
5	2024/09/04 22:36:41	操作	ネットワークを設定	admin	192.168.1.189
6	2024/09/04 22:36:17	操作	正常にサインイン	admin	192.168.1.189
7	2024/09/04 22:34:32	操作	イベントの設定		
8	2024/09/04 22:34:30	操作	イベントの設定		
9	2024/09/04 22:34:30	操作	HTTPサーバーを構成		
10	2024/09/04 22:33:59	システム	システムが停止		
11	2024/09/04 22:33:55	操作	システムソフトウェアのリセット		
12	2024/09/04 22:33:40	操作	画像を白黒モードに設定	admin	192.168.1.189
13	2024/09/04 22:33:35	操作	画像パラメータのデフォルト値を復元	admin	192.168.1.189
14	2024/09/04 22:33:32	操作	画像を白黒モードに設定	admin	192.168.1.189

現在ページ

1

ページのアイテム

20

総ページ: **2**

Syslog.xls の例

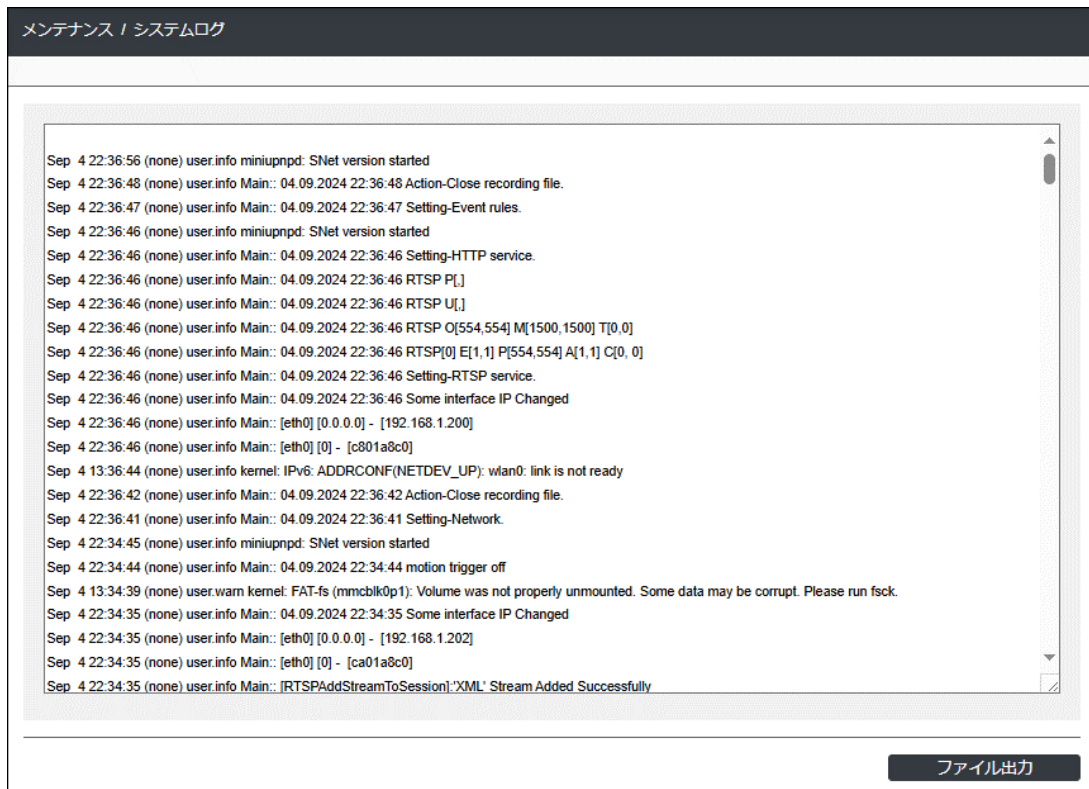
	A	B	C	D	E	F
1	番号	時間	サブタイプ	ユーザー名	ログインIP	
2	1	2024/9/4 22:37	正常にサインイン	admin	192.168.1.189	
3	2	2024/9/4 22:36	イベントの設定			
4	3	2024/9/4 22:36	HTTPサーバーを構成			
5	4	2024/9/4 22:36	RTSPサーバーを構成			
6	5	2024/9/4 22:36	ネットワークを設定	admin	192.168.1.189	
7	6	2024/9/4 22:36	正常にサインイン	admin	192.168.1.189	
8	7	2024/9/4 22:34	イベントの設定			

4.8.5. システムログ

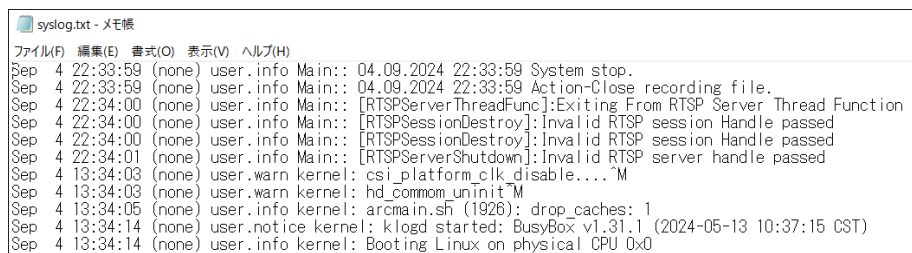
システムに関するログを表示します。

[ファイル出力]をクリックすると、PC のダウンロードフォルダにログファイルが生成されます。

ファイル名は「syslog.zip」で生成されます。



Syslog.txt の例



5. 製品仕様

製品名	HIC-HB411W	
形状	バレット	
カメラ部		
撮像素子	1 / 3" 4MP CMOS SENSOR	
最低被写体照度	Color : 0.01Lux@F2.0 AGC:ON / IR ON 時:0Lux	
赤外線 LED	実装、照射距離=10～15m	
S / N 比	54dB 以上（AGC OFF 時）	
レンズ	2.8mm 固定焦点レンズ（画角 水平 106 度）	
DAY&NIGHT	自動 / 昼間 / 夜	
露出調整	自動 / マニュアル（シャッター・ゲイン）	
シャッター速度	自動（1 / 10～1 / 10,000）及びフリッカレス	
ホワイトバランス	自動 / マニュアル（白熱灯、蛍光灯、晴天、曇り、日陰）	
DNR（ノイズ除去）	OFF / ON（LEVEL 1～7）	
WDR 機能	OFF / ON（LEVEL 1～10）	
画質調整	明度、コントラスト、色相、彩度、シャープネス	
その他の機能	ROI（1 エリア）、プライバシーマスク（4 エリア）、OSD（タイトル表示 / 時刻表示）、画像反転（上下 / 左右）、SD カード録画	
スマート機能		
基本	モーション検知	
スマート検出	人間のライン越え、顔検出	
アラーム関係	SD カード（動画保存 / 静止画保存）、FTP アップロード、E メール通知	
ネットワーク部		
画像圧縮方式	H.265 / H.264	
音声圧縮方式	G711U	
インタフェース規格	ONVIF（PROFILE S）	
プロトコル	HTTP、IPv4、UPnP、SNMP、NTP、RTSP、TCP/IP、UDP、DHCP、SMTP、FTP	
ビットレート制御	CBR / VBR	
フレームレート	1～30fps	
画像サイズ	第 1 ストリーム	2560x1440、2304x1296、1920x1080、1280x720
	第 2 ストリーム	1280x720、704x480、352x240

ビットレート 設定範囲	2560x1440	1,536kbps ～ 7168kbps
	2304x1296	1,024kbps ～ 6,144kbps
	1920x1080	768kbps ～ 4,096kbps
	1280x720	256kbps ～ 2,048kbps
	704x480	128kbps ～ 1,024kbps
	352x240	64kbps ～ 768kbps
同時アクセス数		5
その他機能		オンラインユーザ表示、ユーザレベル（管理者 / ユーザ）、IP アドレス・MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、FTP、ROI
無線 LAN		
規格		IEEE802.11b/g/n
周波数帯		2.4GHz～2.4835GHz
チャンネル幅		20MHz
セキュリティ		WEP、WPA-PSK / WPA2-PSK
認定		工事設計認証：201-230666
外部インタフェース		
音声		入力：内蔵マイクロフォン、出力：内蔵スピーカ
SD カードスロット		Micro SD / SDHC / SDXC（最大 256GB サポート）
イーサネット		RJ-45（10 / 100Base-T）
電源入力コネクタ		+12V（φ2.1mm 標準 DC ジャック）
一般		
電源		DC +12V（±10%）※1
消費電力		IR LED OFF / AI OFF=2.7W（DC12V / 224mA） IR LED OFF / AI ON=3.0W（DC12V / 248mA） IR LED ON / AI OFF=5.4W（DC12V / 449mA） IR LED ON / AI ON=5.6W（DC12V / 464mA）
運用温度		-10℃～+50℃（湿度：20%RH～85%RH）
寸法		60（W）× 57（H）× 149（D）mm（アンテナ含まず） 85.6（W）× 134（H）× 149（D）mm（アンテナ含む）
防塵・防水性能		IP65
耐衝撃構造		未対応
重量		320g

※注 1：AC アダプタは付属していません。

6. 困ったときには

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

◆パスワードを忘れたときの対処方法

- リセットボタンを操作して初期化する。

※ デフォルト IP : 192.168.1.200 / ユーザ名 : admin / パスワード : admin

カメラのリセットボタンを押して工場出荷状態に戻す方法

- ① ゴムカバーを外す。



ゴムカバーを外します

- ② リセットスイッチを 10 秒以上長押しする。



10 秒以上長押しする

※強く押しすぎないように注意

- ③ カメラが再起動して初期値に戻ります。
- ④ ゴムカバーを元通りに取付けます。（隙間が無いよう注意して取付けてください。）

◆本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか。
- 電源には、適切な電圧が供給されているか。
- 正しく PoE 給電されているか。PoE に対応したスイッチやインジェクタを使用しているか。

◆RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- ネットワーク機器（ネットワークスイッチなど）の電源は入っているか。
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか。

◆IE ブラウザ経由でカメラに接続できない。あるいは、表示がおかしい

本カメラは IE（Internet Explorer）ブラウザはサポートしておりません。

他のブラウザをご利用ください。

◆IP Finder でデバイスを見つけれない

- コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。ウイルス対策ソフトウェアを停止して、デバイスを再度検索してください。

7. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間： 平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL： 0570-060030

問合せフォーム：

https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

